

# 巨大変成岩岩脈

## Giant Metamorphic Dyke

# 鳥海 光弘[1]

# mitsuhiro toriumi[1]

[1] 東大・新領域

[1] GSFS, Univ. Tokyo

変成帯の地殻上部への上昇過程は基本的な地質過程である。近年の超高压変成岩の詳細な研究と高压変成岩の詳細な温度圧力経路、および温度圧力変形経路の研究により、変成岩帯がプレート境界の100 km - 300 km程度までの深部から地殻上部へと固体状態のイントルージョンを起こしたものであることが明らかとなった。この様式は変成岩の分布様式からきわめてアスペクト比の大きい板状の貫入体であると推定される。本論文ではこの地質過程について議論する。